

安全にお使いいただくために

SQの電源を入れる前に、同梱の安全上のご注意をお読みください。お客様自身の安全とオペレーター、エンジニア、およびパフォーマンスの安全のために、すべての指示に従い、これらの文書、機器に印字されているすべての警告をお守りください。

ユーザー登録

アップデート、最新のファームウェア、およびSQシリーズの新しいリリース情報を常に入手するには、www.allen-heath.com/registerでSQ-7のユーザー登録を行ってください。

ファームウェアおよびリファレンスガイド

以降の項目は、SQ-7のハードウェアの概要と動作原理を紹介するものです。www.allen-heath.comにアクセスし、最新のファームウェアとリファレンスガイドを入手してください。SQでSQアプリを使用する場合は、最新のファームウェアが必要です。

換気

SQは冷却用にファンを使用します。運用時は、ファンや通気口の周囲に空気を流すために、十分な空間が必要です。

概要

SQは高解像度の96kHzオーディオミキサーです。最新技術を用いることで、詳細で正確な音質を提供するとともに、拡張性やシステム統合のための様々なオプションを提供するように設計されています。

SQシリーズ

プリアンプ、HPF、PEQ、ゲート、コンプ、ディレイを備えた48系統の入力チャンネル
32系統の出力チャンネル(LR、12モノ/ステレオ・ミックス、3ステレオ・マトリックス)
専用リターンチャンネルを備えた8系統のステレオFX
8ミュートグループ、8DCAグループ
ソースパッチ(ローカル、SLinkリモート、オプションカード、USB)
出力ソケット及びInsert I/Oパッチ
マルチチャンネルのUSBストリーミングとUSBドライブへのダイレクトレコーディング
トークバックマイク入力、デュアルフットスイッチコントロール、ワイヤレスコントロール

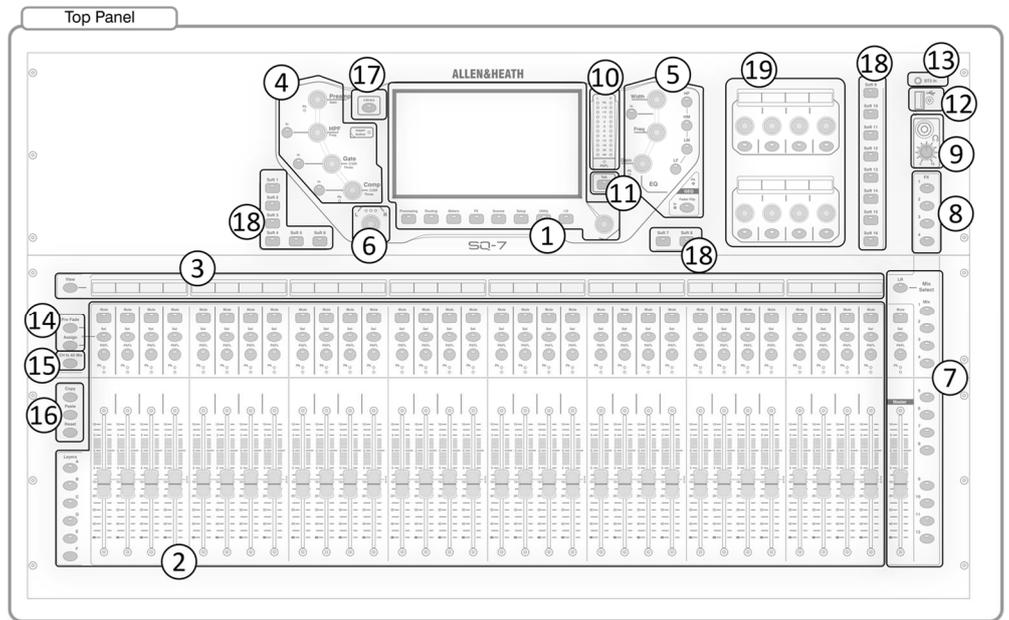
SQ-7固有の機能

192フェーダーストリップ(32+1フェーダー、6レイヤー)
32ローカルマイク/ライン入力ソケット
3ローカルステレオライン入力ソケット
16XLR+2TRS出力ソケット
16個のアサイン可能なソフトキー
液晶ディスプレイを搭載した8つのアサイン可能なソフトウェアロータリー

SLinkポート互換	サンプリングレート	プロトコル	最大長	
DX168, DX164-W, DXハブ	96kHz	DX	100m	Cat5e以上
AR2412, AR84, AB168	48kHz	dSnake	120m	Cat5e以上
ME-U, ME-1, ME-500	48kHz	dSnake		Cat5e以上

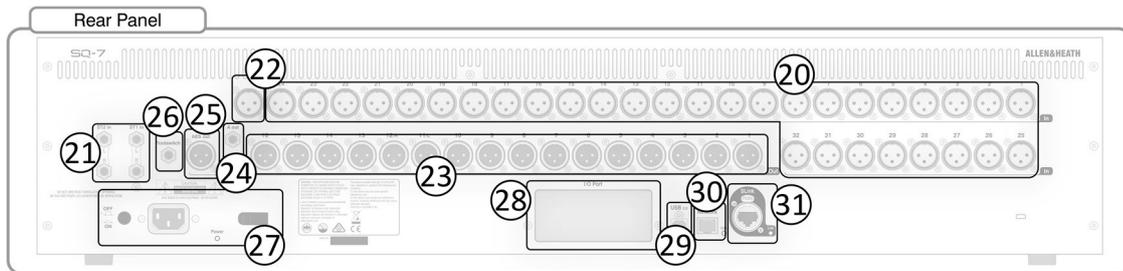
アクセサリ

SQ-BRACKET	iPad/タブレット用着脱式金属ブラケット
AP11334	ロゴ付撥水性ポリエステルダストカバー
AR84	8 XLR入力、4XLR出力、dSnakeリモートオーディオラック(ラックマウント可能)
AR2412	24 XLR入力、12XLR出力、dSnakeリモートオーディオラック(ラックマウント可能)
AB168	16 XLR入力、8XLR出力、dSnakeリモートオーディオラック(ステージボックス、ラックマウント可能)
DX168	16 XLR入力端子、8XLR出力、96kHz DXリモートオーディオラック(ステージボックス、ラックマウント可能)
DX164-W	16 XLR入力端子、4XLR出力、96kHz DXウォールマウントオーディオエキスパンダー
DX-HUB	4系統のDX Linkポートを備えたリモートオーディオハブ(マウントキットでラックマウント可能)
AH9650	ロック機構付Neutrik EtherConコネクターのEtherFlex Cat5eケーブル100m(ドラム型)
AH9981	ロック機構付Neutrik EtherConコネクターのEtherFlex Cat5eケーブル50m(ドラム型)
AH9651	ロック機構付Neutrik EtherConコネクターのEtherFlex Cat5eケーブル20m



- ① タッチスクリーン、スクリーン選択キー、スクリーンエンコーダー
以下のキーを使用して、プロセッシング画面を表示し、ルーティングメニューとセットアップメニューにアクセスします。タッチしてパラメーターを選択し、ロータリーを使用して値を調整します。フェーダーストリップとレイヤー選択キー
6つのレイヤーで構成する32本のフェーダーは、チャンネル、リターン、マスター、DCAの任意の組み合わせにアクセスできる192個のアサイン可能なストリップを提供します。各ストリップは、フェーダー、ミュート、セレクト、PAFLキー、ピーク、信号メーターを搭載しています。
- ② アイデントストリップ
32本のストリップごとにチャンネル名と色を表示するLCDディスプレイです。Viewキーを押すと、入力ソースなどの二次情報が表示されます。
チャンネル
- ③ (Pre/HPF/Gate/Comp)
選択したチャンネルの物理的なコントロールを行います。制御項目はプリアンブ、HPF(ハイパスフィルター)周波数、ゲートスレッショルド、コンプスレッショルドです。
- ④ チャンネル(P EQ/G EQ)
選択したチャンネルの物理的なコントロールを行います。制御項目はEQバンドセレクトとパラメトリックコントロールです。Fader Flipキーを使用して、選択したミックスGEQをフェーダーで制御できます。
- ⑤ パンコントロール
- ⑥ マスターストリップ、ミックスセレクトキー
青色のMixキーを押して、そのセンドを32本のフェーダーに、マスターをマスターフェーダーストリップに表示します。LRを選択すると、メインのLRミックスとチャンネルフェーダーが運動します。
- ⑦ FXセンドセレクトキー
青色のFXキーを押して、そのセンドを32本のフェーダーに表示し、マスターセンドをマスターフェーダーストリップに表示します。
- ⑧ ヘッドホン出力、レベルコントロール
- ⑨ メインメーター
LRミックスまたは選択したPAFL信号レベルを表示します。
- ⑩ トークキー
トークバックマイク用のモメンタリーまたはラッチスイッチです。

- ⑫ SQドライブポート
USBドライブとの間でオーディオをダイレクトに録音/再生します。USBメモリーを使用して、シーン、ショー、ライブラリーのデータを転送します。SQファームウェアを更新します。
- ⑬ ST3入力
3.5mmステレオミニジャック入力は、外部BGM機器の接続に使用できます。
- ⑭ プリフェード、アサインキー
Pre-Fadeを押したままSelを押して、ミックスに送るチャンネルのプリ/ポストフェードを切り替えます。Assignを押して、Selを押して、選択したミックスにチャンネルをルーティングします。
- ⑮ CH to All Mixキー
長押しして、現在選択しているチャンネルがミックスに送っているすべてのセンドを表示します。アイデントストリップには、ミックス名が表示されます。
- ⑯ Copy/Paste/Resetキー
プロセッシングブロックまたはチャンネルパラメーターのコピー、貼り付け、リセットを行います。
- ⑰ Libraryキー
異なるライブラリーを開いて、チャンネル/ミックス/FX用のプリセットのセーブおよびリコールを行えます。
- ⑱ アサイン可能なソフトキー
セットアップ画面で、ミュート、タップテンポ、シーンリコール、SQドライブコントロールなどの機能をアサインします。
- ⑲ エンコーダーアサイン
セットアップ画面では、よく使うパラメーターにすばやくアクセスするための機能を割り当てることができます。



- ⑳ ローカルマイク/ライン入力
- ㉑ ローカルステレオライン入力
- ㉒ トークバックマイク入力
- ㉓ ローカルXLR出力
- ㉔ ローカルTRSフォーンジャック出力
- ㉕ AESデジタル出力
- ㉖ モノ/デュアルフットスイッチ接続
- ㉗ 電源端子、電源スイッチ
- ㉘ I/O Port: オプションカード
マルチフォーマット、マルチチャンネルデジタルオーディオ
- ㉙ USB-Bポート
マルチチャンネルオーディオおよびMIDI I/O用のコンピューターと接続します。
- ㉚ ネットワークポート
ネットワーク/ワイヤレスコントロール用のルーターを接続します
- ㉛ SLinkポート
AB、AR、およびDXシリーズを含むAllen&Heathリモートオーディオユニットラック、ならびにMEパーソナルモニタリングシステムの接続を行うポートです。

電源投入

- i. 電源ケーブルを(27)に接続します。
- ii. (20)、(21)、(22)を使用して入力ソースを接続します。
- iii. 出力(23)、(24)を、アンプ、スピーカーまたは他のラインレベル入力機器に接続します。
- iv. 必要に応じて、(25)、(28)、(29)および(31)を使用して、オーディオラックやコンピューターなどのデジタルI/Oを接続します。
- v. フットスイッチを使用している場合は、(26)に接続します。
- vi. 電源スイッチ(27)を押してSQの電源を入れます。
- vii. 接続したアンプやパワードスピーカーの電源を入れます。

セットアップ

Scenes



すべてのミックスをリセットする場合は、(1)のSceneを押してシーン画面に移動し、Reset Mix Settingsボタンを長押しします。保存したシーンやライブラリーを削除せずにデスクをゼロ状態にします。

I/O



パッチングをチェックまたは変更するには、(1)のI/Oを押してI/O画面に進み、マトリクスを使用して、ローカル/デジタル入力からSQ入力チャンネルにパッチします。そしてSQ出力[LR/Mix/Group/Matrix/DirectOut]をローカル/デジタル出力にパッチします。

作業の流れ



青色のLR、Mix、またはFXキーを押して、選択したミックスのセンドレベルを24本のフェーダーストリップに表示します。(2)のレイヤーキーを使って6つのレイヤーを移動し、個々のレベルを調整します。
(7)のマスターストリップは、選択したMix/FXのマスターセンドレベルをコントロールします。



(2)のフェーダーストリップまたは(7)のマスターストリップにある緑色のSelキーを押してストリップを選択します。
(4)、(5)、(6)の物理的なコントロールは、選択したストリップのパラメーターを調整するために使用します。

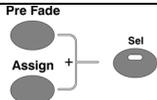
Processing



プロセッシング画面に移動して、選択したストリップのプロセッシングの概要を確認します。
プロセッシングの任意の部分をクリックして詳細ビューを表示し、画面上でパラメーターをタッチし、(1)のタッチスクリーンエンコーダーを使用して調整します。



ミュートキーは、ストリップがミュートされると点灯します。
デフォルトでは、PAFL(Pre/After Fade Listen)キーを使用すると、1つのチャンネルをPAFLバス/ヘッドホン出力に一度にルーティングできます。PAFLの設定はセットアップ画面で変更できます。



ポストフェードに設定されたミックスセンドは、LRセンドレベルに従います。選択したミックスのプリ/ポストフェーダーの切り替えは、Pre Fadeキーを押したままSelキーを押してください。
現在選択されているミックスからストリップをアサインまたはアサイン解除するには、Assignキーを押したままSelキーを押します。

CH to All Mix



CH to All Mixキーを長押しすると、現在選択されているストリップのセンドレベルがメインフェーダーストリップ一面に表示されます。



FXキーを押し、FXエンジンを確認して調整します。
Libraryキー(17)を使用して、FXタイプおよびプリセットを呼び出し、オンスクリーンを選択し、タッチスクリーンエンコーダーでパラメーターを変更します。
FXバス1~4(8)は、デフォルトでFXエンジン1~4に送信されます。
FXリターンチャンネル、ステレオ入力チャンネルと同じ方法でミックスにルーティングできます。



Copyキーを押しながらInキー(4)(5)、Selキー(2)(7)を押すと、パラメーターがコピーされます。
Pasteキーを押しながらSelキー(2)(7)を押すと、コピーしたプロセッシングを別のチャンネルにペーストします。Resetキーを押したまま、Inキー(4)(5)、Selキー(2)(7)、または画面上でパラメーターをリセットします。

保存、呼び出し

Scenes



Sceneキーは、ミックスを保存またはリコールするために使用します。Showは、複数のシーンおよびすべての設定を含みます。Scenesキーを押して、現在のショーのシーンのリストにアクセスします。
シーンフィルターとSafe(セーフ)を組み合わせることで、シーンの呼び出し時にどの設定/パラメーター/ストリップが影響を受けるかを決定します。

電源オフ

- i. 接続されているアンプやパワードスピーカーの電源をオフにします。
- ii. ホーム画面に移動し、Shut Downを選択します。
- iii. プッシュスイッチ(27)を使用してSQのスイッチを切ります。

接続

バランス型モノ/ステレオ入力	マイクまたはラインレベル	XLR	1=Gnd,2=+,3=-
ST1/2入力	ラインレベル	¼" TRSジャック	ヒント=+, リング=-, スリーブ=Gnd
ST3入力	ラインレベル	3.5mmステレオミニジャック	チップ=左、リング=右、スリーブ=Gnd
バランス型XLR出力	ラインレベル	XLR	1=Gnd,2=+,3=-
バランス型フォーンジャック出力	ラインレベル	¼" TRSジャック	ヒント=+, リング=-, スリーブ=Gnd
SLink	RJ45/EtherCON.Cat5e以上のケーブル各拡張ユニットのマニュアルを参照してください。		
AESステレオデジタル出力	デジタル	XLR	110Ω AESケーブル
リアUSB接続	USB-B、USB2.0規格に準拠		
ネットワーク接続	RJ-45、Cat5e以上のケーブル		
フットスイッチ	¼" TRS(デュアル)またはTS(モノラル)ジャック		
SQリモートアプリ	合計数の最大8(SQ-MixPad:最大2)※		

※接続できる SQ リモートアプリの最大数は 合計で 8 です、うちSQ-MixPad は最大 2 つまで接続が可能です。

例:SQ-MixPad を 2 使用した場合は、SQ4You は 6 まで接続可能。

SQ-MixPad を 1 使用した場合は、SQ4You は 7 まで接続可能です。

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

2023年2月版